

二次対策工事 年度別計画 (案)

<p>平成25年度</p>		<p>○既設構造物の撤去 二次対策に支障となる既設建築物（溶融炉建屋、プレハブ等）の取り壊しを行う。（建築課執行）</p> <p>○水処理施設設置工事 H25 から H26 にかけて施工する。H25 については、水処理施設の設計および施設プラントの製作を行い、H26 に水処理施設の基礎工事、組み立てを行う。</p> <p>○二次対策全体工事 H25 から H32 にかけて施工する。H25 は、選別施設のテント等の製作、施設基礎工事等を行う。</p> <p style="text-align: right;">PCB = 本へ 3.99億</p>
<p>平成26年度</p>		<p>○水処理施設設置工事 施設の基礎工事、処理プラントの組み立て、下水道接続を行う。（完成）</p> <p>○二次対策全体工事</p> <p>①選別施設 建屋建築、選別ライン組み立て、集じん脱臭設備等を設置する。（完成）</p> <p>②ストックヤードの設置 選別した廃棄物や埋戻し材の仮置きヤードを設置する。</p> <p>③選別施設の稼働 仮置きしている廃棄物土を選別施設で埋戻し材と廃棄物に選別する。 埋戻し材は、H27 から実施する掘削工事後の埋戻し工事まで、仮置きする。</p> <p>④鉛直遮水工 隣接する団地側と接している地下水層を遮断するために、深さ 10m ~20m の連続する壁を地中に設置する。（20m）</p>
<p>平成27年度～平成31年度</p>		<p>○二次対策全体工事</p> <p>①底面、側面遮水工 (H27~H30) ・地下水層と接している底面部分と側面部分の遮水工事を行う。 ・廃棄物層内の浸透水の影響を考慮し、複数の区画に分割しセメント系の改良材で遮水する。 ・廃棄物層の浸透水を効率よく集水するために、遮水面の上に排水ドレーン管を設置する。</p> <p>②浸透水貯留層（取水ピット）設置 (H30) 浸透水を一時貯留する施設と水処理施設へ送水する施設を設置する。</p> <p>③有害物掘削除去工 (H31) これまでの調査で、土壤環境基準を超過した区画について、有害物の掘削除去を行う。有害物は、場外処分を行う。</p>
<p>平成31年度～平成32年度</p>		<p>○二次対策全体工事</p> <p>①覆土工 (H31~H32) 雨水の廃棄物層への浸透を抑制するほか、雨水を廃棄物等に接触せずに流下させるため、平地、法面部分を良質土により覆土を行う。底面・側面遮水の埋戻しが完了次第順次施工を行う。</p> <p>②雨水排水工 (H31~H32) 雨水を効率よく流下させるために、雨水排水側溝を設置する。</p> <p>③選別施設の解体工 (H31) 選別施設を解体撤去する。</p> <p style="text-align: right;">南部水産株式会社 日青</p>

○廃棄物の運搬・処分委託は別途発注する。

○対策工の実施期間中および対策工事完了後は、浸透水や地下水のモニタリングにより対策工の影響や効果を把握していく。